

2019年8月
vol.20

輪っしょい!

わっしょい みんなでかつごう いちのせき



住民の熱意で14年ぶりに復活!
今年で5年目を迎える
「そげい夏まつり」



ゆ 結いネット そげい

会長：足利 徳夫 電子メール ynt_sogei@yahoo.co.jp

お問い合わせ先
電話:0191-75-2244
曾慶市民センター

曾慶地区は室根山を東に仰ぎ、中央を西に曾慶川が流れる古くからの農村の原風景を残した美しい景観が自慢です。現在は約380世帯、人口約1,200人の小さな地域ですが、昔からの「結いっこ」精神で住民が助け合い心豊かに暮らしています。

「住み続けたい曾慶」を目指し

急速に進む少子高齢化や人口減少などによる地域の活力低下を心配する声が多く、さまざまな課題解決に向けて地域協働体「結いネット そげい」が平成26年7月に設立されました。まちづくりの目標を「心も景色も美しく、住み続けたい私たちの曾慶」とし、以下のとおり5つのチームが自主的に活動しています。

Team1「そげい夏まつり」の復活

地域づくり計画策定の際のアンケート調査の結果、かつて青年会が中心となっていた「夏まつり」の復活を望む声が多かったことから、夏まつりチームを結成し14年ぶりに復活。総踊りや音楽ステージ、若者による行政区毎の出店など、子どもからお年寄りまで交流を深めています。

Team2 地域を花で美しく彩る

花いっぱいチームではプランターに季節の花を植えて地域内各地に設置し、地域の景観を彩っています。

Team3 そばの栽培・出前そば打ち

特産品開発チームでは、遊休農地にそばを栽培し刈り取りから製粉、そば打ちまで行っています。年越しそばの販売や文化祭、各地のサロンや福祉施設等に出向いてのそば打ちなど、打ち立てのそばの美味しさを広めています。



そばの刈り取り作業

Team4 高齢者が安心して暮らせるように

高齢者世帯環境チームでは、草刈り隊・雪かき隊を結成し、高齢者の生活環境を守るお手伝いをしています。また、地域イベントへの送迎や市民センターとの共催で健康教室等も行っています。

Team5 そげっば誕生!!

曾慶 PRチームでは平成29年度に「結いネット そげい」のイメージキャラクターと愛称を募集。曾慶カッパ伝説を元にしたキャラクター「そげっば」が誕生しました。



「結いネットそげい」イメージキャラクター「そげっば」

いちのせき協働ニュース
輪っしょい!の
発行にあたって

本紙では、特色ある地域協働の取り組みや、市民センターの「熱い」取り組みなどを紹介します。
*地域協働とは、地域の自治会、消防団や PTA など各種団体、市民、民間事業者（企業）等の多様な主体が、一定の地域において互いに、又は行政と、地域の特性や課題などを共有した上で、役割分担しながら、地域課題の解決や地域の実情に沿って地域づくりを進めるしくみです。

※今号より、タイトルロゴをリニューアルしました。



千厩地区まちづくり協議会

会長：村上 敬一 電子メール senmachi@orion.ocn.ne.jp
ホームページ http://www.senmachi.com

お問い合わせ先
電話:0191-52-2309
千厩市民センター

健康で笑顔あふれる地域を次世代へ

当協議会は、「住んでみたいと思える地域づくり」を目的に、地区内自治会、各団体等の方々により平成17年8月9日に設立。「健康で笑顔あふれる地域を次世代へ」をスローガンに、地域づくりに取り組んでいます。



高校生との協働事業のイベント『夏の千仰祭』

まちづくりセミナーで課題学習

平成30年度から「まちづくりセミナー」として、「介護予防」、「資源循環」、「安全安心」のテーマ毎に講話や意見交換会を開催。それぞれの課題について、市役所千厩支所の担当課職員や千厩警察署員と協同でミーティングを実施しています。

高校生とのコラボ

「若い人が地域で活躍する場が必要では？」とワークショップで出された課題から、高校生の地域参加等を促進するため「夏の千仰祭」や「新町鍋フェスタ」への出店等を高校生と協働で事業実施。生徒自身が企画・運営を担い積極的に取り組んでいます。今後も若い世代がより地域で活躍できるようサポートをしていきます。



「新町鍋フェスタ」に参加した千厩高校の生徒



介護予防について学習する参加者



いわて松川やくにたつ会

会長：永澤源治郎

お問い合わせ先
電話:0191-48-2410
松川市民センター

将来ビジョンは「元気にイキ・イキ・イキ松川」

当会の将来ビジョンの「イキ・イキ・イキ」は「生き」・「活き」・「意気」。安全安心な環境で、元気に健康寿命を楽しみながら生きられる松川、文化や歴史、自然などの地域資源を活かす松川、まちづくりを発信する意気な松川を目指しています。

災害に強い安全・安心な地域づくりの実現を目指し「防災マップ2018」を作製

砂鉄川は地域を縦断しており、当地域は平成14年7月、平成25年7月の水害をはじめ、多くの災害を経験しました。



災害対策の意見を交わす安全安心部会

当会の安全安心部会で、「災害時に適切に行動できるように松川独自の防災マップが欲しい」との意見が出され、一関市の防災マップを基に、部会員が各行政区内の治山ダムや砂防ダムの場所を調査し、消火栓や防火水槽を加える等1年かけてマップを作製。この防災マップをきっかけに家族での話し合いや地域での学習などに役立ててもらいたいです。



完成した防災マップ

永澤会長よりひとこと



仙台藩に蔵書などを送り日本の公共図書館の祖となった青柳文蔵。当地域出身の文蔵の偉業を後世に広く語り伝えていきたいものです。

弥栄婦人会

★スポーツ吹矢で交流

弥栄婦人会は、会員相互の交流活動を主に行い、地域の活性化に取り組んでいます。活動の一つである「スポーツ吹矢体験会」は、日頃の運動不足の解消や地域住民との交流を目的に、不定期で開催しています。弥栄地域にお住まいの方を対象に、参加者を募集します。

現在、新たな事業を検討しています。これからも、みんなで楽しめる地域づくり活動を実践していきます。



スポーツ吹矢
体験中

参加者募集中 地域づくりは参加するところから始めましょう。スポーツ吹矢に興味のある方、「一緒にやっぺし!」

【お問合せ先】代表 須藤 俊子 0191-43-2088

骨寺村ガイドス運営協議会

★骨寺村荘園遺跡でライブ&マルシェ

当会では、起業の支援と市内を中心に活動しているアマチュアバンドの育成を目的に、平成26年度から「ほんでらフェスタ」を開催しています。骨寺村荘園交流館(若神子亭)を会場に、だれでも楽しめる内容で毎年地域に元気と賑わいを創出しています。

夏(入場無料)と春に行われるイベントは、地元と市内外の多くの方々、幅広い年齢層の方々が楽しく交流できる場となっています。お気軽にお越しください。詳しくはこちら↓



本寺に元気と
賑わいを!



イベント情報 春フェスタでは、プロミュージシャンのライブをお得に聴くことができます。(チケット500円)

【お問合せ先】骨寺村荘園交流館(若神子亭)電話 0191-33-5022
<https://www.facebook.com/honedera.wakamikotei/?ref=bookmarks>

もっと
知りたい

協働のそもそも論 ①

今回のそもそも論は、一関市の協働への取り組みを紹介します

★そもそも「協働」って...

一関市では、市民と行政が手を取り合って、**継続的な話し合いと合意**により、公共的、公益的な活動を行うことを「協働」と定義しています。

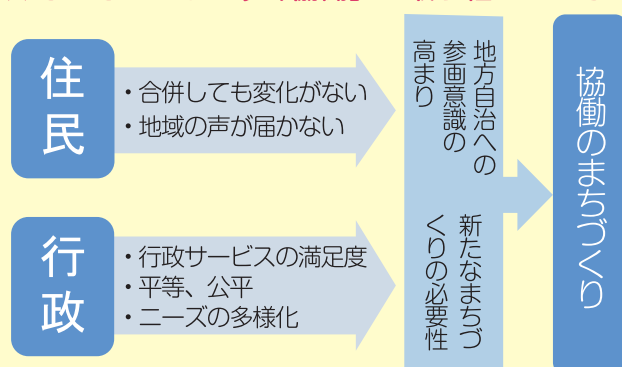
地域だけではできないことを行政と、行政だけではできないことを地域と、**お互いに補完しあって地域づくりを進める手法**です。

地域においては、地域コミュニティの代表組織として「地域協働体」を組織し、行政との協働のメインパートナーとしての役割を担っています。

地域協働体の位置づけ



★そもそも、なぜ今「協働」に取り組んでいるの?



平成17年に一関市、花泉町、大東町、千厩町、東山町、室根村、川崎村が合併して「新一関市」が誕生、その後、藤沢町が加わり、今の一関市が形成されています。

合併を契機に、地域では、自分たちの思いが行政に届かないのではないかという思いが生まれ、地域のことは地域で解決するという機運が高まりました。また、行政では、平等性や公平性を保ちつつ、合併により生じた多様なニーズに対応するため、新しいまちづくりの手法を模索していました。

そのお互いの「思い」をかなえられる手法として、一関市協働推進計画を策定し、「協働」のまちづくりに取り組んでいます。

第9回 市民センターの今、ココが熱い! アツ 老松市民センター編

当市民センターは、平成31年4月から地域協働体の「老松みどりの郷協議会」が指定管理者となり施設管理や市民センター事業を実施しています。市民センター事業がより魅力的で親しまれるものとなるよう地域の皆さんと一緒にアイデアを出し合うなどして運営しています。ここでは、今、盛り上がりを見せている「若者による地域活動」をご紹介します。

今回の「ココ熱」①

「若者らしい視点で地域活動」

老松市民センターでは、若者の力を発揮するきっかけづくりとして平成28年に「老松若者ミーティング」と称するミーティングの機会を作りました。各集落からの推薦で集まったメンバーも、現在は有志数人となり、名称も「老松をおいしく志隊」に変更。平成30年度は老松市民センター事業「学びの土曜塾」と共催し、「おいしい地域おこしサツマイモ☆チャレンジ」を4回開催しました。



ミーティング風景

農村地域の「干し文化」に注目。サツマイモの栽培から収穫までを地域の子供たちと一緒にに行い、最終回は干しイモやスイートポテトなどの様々なサツマイモ料理で収穫祭をしました。課題は中心メンバーの増員です。地域の難題を「おいしい」に変換する力を持つ若者たちを支えていきたいと思っています。



収穫したサツマイモで料理中



サツマイモ収穫の様子

今回の「ココ熱」② 「文化事業」



ほうねん座の獅子舞パフォーマンス

「本物を見たり体験して感動する心は、きっと人づくり、地域づくりにつながる」との思いで取り組んでいる文化事業。平成30年度は、地域住民から募った委員と地域の文化団体推薦の委員、老松・日形両地区の地域協働体で実行委員会を組織。仙台市の秋保地区を拠点に活躍する民族歌舞団ほうねん座の公演を開催しました。たくさんのお客様に会場にいらしていただき、迫力満点のパフォーマンスに大きな拍手が送られました。オープニングアクトでは老松小学校児童や地元太鼓団体の演奏も披露され、各団体のこれからの活動に寄与できる事業となりました。

今回の「ココ熱」③ 「老松夏まつり」



当たるかなあ？

子ども広場では花泉中学校生とPTAがちびっ子たちをおもてなし。

平成26年の地域協働体発足を機に、「地域住民の気持ちを一つに」という思いで、「老松夏まつり」を復活させました。第1回はあいにくの雨でしたが、会場を市民センター館内に移して開催。地域協働体を構成する団体が会場づくりや出店を分担し、

大勢のお客様を迎えました。また、司会や音響を地域のベテランさんが買って出て、歌や踊りを盛り上げました。しばらくぶりにお目見えした行灯には、老松小学校の子どもたちの絵がきれいに貼られ、会場を彩りました。その後も毎年開催している「老松夏まつり」。趣向を凝らした舞台やお楽しみ子ども広場など、老若男女の笑顔が集う地域のお祭りとなっています。

担当者からひとこと 事務局 ちば ゆみ 千葉 裕美さん

老松みどりの郷協議会を発足して5年が経ち、活動の点検・見直しをしているところです。また、今年は老松市民センター指定管理元年。職員一同「おもしろく・おがすぐ・さざぼさど」（おもしろく・おかしく・和気あいあいと）精神で奮闘中です。

【お問合せ先】 老松市民センター(老松みどりの郷協議会) 電話 0191-82-5153

